

～子どもの健やかな成長をねがって～

2013年1月23日(水) 14:00～16:10 時事通信ホール

主催:  **環境省**
Ministry of the Environment

協力:  独立行政法人
国立環境研究所

 独立行政法人
国立成育医療研究センター
National Center for Child Health and Development

プログラム

総合司会 宮本 裕子 フリーアナウンサー

14:00-14:05 開会あいさつ
秋野 公造 環境大臣政務官

14:05-14:55 **講演「子どもの発達を支える親子のコミュニケーション」**
橋本 圭司 エコチル調査メディカルサポートセンター
国立成育医療研究センター リハビリテーション科医長/発達評価センター長

14:55-15:10 休憩 (15分)

15:10-15:55 **発表「エコチル調査を通じて見えてきたこと」**
川本 俊弘 エコチル調査コアセンター長
山縣 然太郎 エコチル調査甲信ユニットセンター長
戸田 英作 環境省

15:55-16:10 エコチル調査からのメッセージ～閉会

参加者プロフィール

はしもと けいじ

橋本 圭司

エコチル調査メディカルサポートセンター
国立成育医療研究センター リハビリテーション科医長/発達評価センター長

臨床医として、日々、子どもたちと接し、子どもの健康の改善に向けて尽力している。東京慈恵会医科大学卒業。東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座助手・講師を経て、現職。著書に、『「うちの子、ちょっと違う?」と感じたら読む本―子どものいいところを伸ばす育て方』『リハビリテーション入門』などがある。子ども向け認知機能の発達支援ツール『こども脳機能バランス―こども脳機能バランス・タッチ』の監修等もやっている。

橋本先生から
一言メッセージ

子どもの発達が気になったときに、周囲は何ができるのか。今回は、いつでもどこでも、誰にでもできる子どもが伸びる接し方、言葉がけ、タッチケアなどを紹介したいと思います。

講演「子どもの発達を支える親子のコミュニケーション」

※裏面へ続きます

★ エコチル調査サポーターになりませんか？

メールマガジンにてエコチル調査の最新情報やお役立ち情報をお届けします。
ご登録方法については、右記をご参照ください。

PC版 ▼

<https://www.env.go.jp/chemi/ceh/entry/>

モバイル版 ▶

エコチル調査

検索



かわもと としひろ

川本 俊弘

(独)国立環境研究所参与・エコチル調査コアセンター長、
産業医科大学医学部産業衛生学講座教授

発表「エコチル調査を通じて見えてきたこと」

エコチル調査全体の指揮を執るコアセンター長を務める。山口大学医学部卒業。米国ミシガン州立大学、カリフォルニア大学デービス校などを経て現職。2010年よりエコチル調査福岡ユニットセンター長を務め、2012年7月よりコアセンター長に就任。2007年日本産業衛生学会賞受賞。

川本先生から
一言メッセージ

エコチル調査ではこれまでに5.5万人を超える妊婦さんにご参加をいただき、3.5万人の赤ちゃんが誕生しています。参加者の皆様からいただいた貴重な情報や試料を大切に解析して、子どもが健やかに育つ環境づくりに役立てたいと思います。

やまがた ぜんたろう

山縣 然太郎

エコチル調査甲信ユニットセンター長、
山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座教授

発表「エコチル調査を通じて見えてきたこと」

公衆衛生学、疫学、人類遺伝学が専門。地域で25年に及ぶ出生コホート研究を実施中。また、遺伝子や脳科学研究など先端科学と社会との接点も研究テーマ。山梨医科大学卒業。米国カリフォルニア大学アーバイン校(UCI) 留学などを経て現職。健やか親子21検討会、次期国民健康づくり運動策定専門委員会、ヒトゲノム・遺伝子解析研究の倫理指針検討会などの委員。「研究は住民に始まり住民に終わる」がモットー。

山縣先生から
一言メッセージ

エコチル調査参加者の皆さんの集まりであるエコチルママの会富士吉田が昨年発足しました。調査にご参加いただいている皆さま自らが積極的に調査に関わっていただいていることの表れだと感銘しています。研究者・事務局と参加者が一体となって、皆さまのご支援を得ながら、未来を担う子どもたちのために、このプロジェクトを成功させたいと思います。

とだ えいさく

戸田 英作

環境省環境保健部環境リスク評価室 室長

発表「エコチル調査を通じて見えてきたこと」

エコチル調査ほか、化学物質の環境リスク評価を担当している。1987年環境庁入庁。経済協力開発機構(OECD)環境保健安全課、環境省化学物質審査室長、市場メカニズム室長などを経て、2010年8月より現職。共著に、「環境基本法の解説」「Risk Assessment of Chemicals」などがある。

戸田室長から
一言メッセージ

エコチル調査は、10万人の子どもの健康を13年間追跡する、息の長い事業です。学術的な結果が出るまでには時間がかかりますが、調査を通して見えてきた子育てや子どもの健康にまつわる状況について、このシンポジウムで紹介したいと思います。

みやもと ゆうこ

宮本 裕子

フリーアナウンサー

総司会

TBS『2時ピタッ』『ピンポン!』、文化放送『中西哲生のなでしこ応援団』などに出演。山梨放送アナウンサーを経て、フリー。サッカー4級審判、(財)日本体育協会公認スポーツリーダー、日本語しこば協会公認話しこば検定一級。「スポーツと健康」に興味があり、山梨大学の市民開放授業「運動生理学」を修了。2011年3月に第一子を出産、子育てに奮闘中。

宮本さんから
一言メッセージ

母親なら子どもが健康ですくすくと育つ事を誰もが望みます。1歳10ヵ月の息子も喘息の傾向があり経過観察していますが、その原因が遺伝以外にもあるとしたら・・・? エコチル調査がいかに意義あるものかをたっぷり学びたいと思います。